

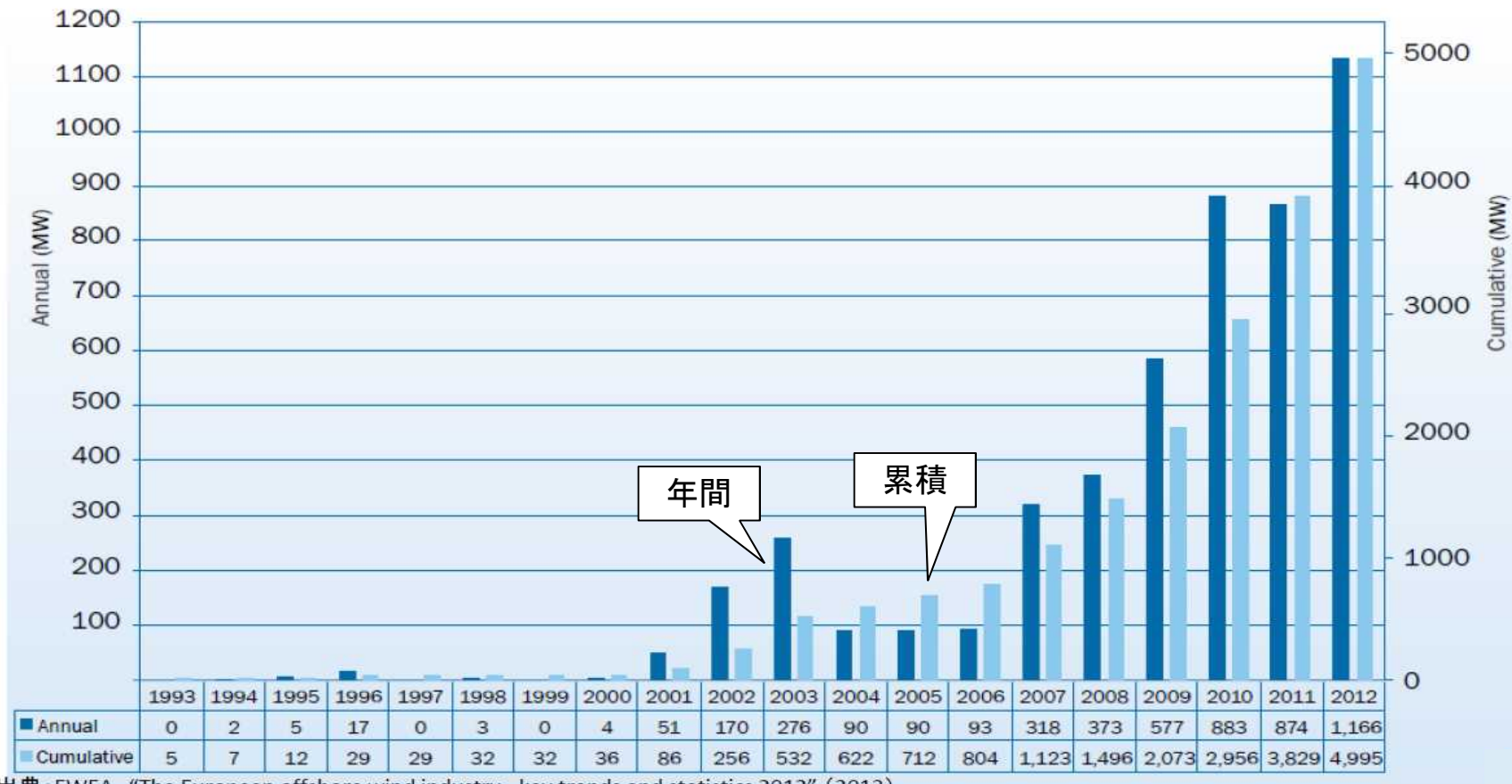
千葉県海洋再生可能エネルギー 導入可能性研究会の目的

欧州における洋上風力の導入量

海洋エネは次なる本命と目されており、海外では導入が進んでいる

ヨーロッパにおける洋上風力の累積及び年間の導入量推移

- 欧州では2007年以降、300MW以上/年で導入拡大
- 2012年末実績で4,995MWが導入（年間導入量1,166MW）



出典：EWEA “The European offshore wind industry - key trends and statistics 2012” (2013)

【出典】洋上風力の調達価格に係る研究会取りまとめ報告書参考資料

海洋再生可能エネルギーに係る国の取組方針及び海洋基本計画

国においても導入を進めている状況

- 1 「海洋再生可能エネルギー利用促進に関する今後の取組方針」 (抜粋)
(平成24年5月25日 総合海洋政策本部決定)

海洋再生可能エネルギー利用の重要性

日本周辺海域に陸上以上のポテンシャル
→それらを利用した発電技術の早期実用化は**エネルギー政策上からも重要**

本方針策定の目的及び施策の基本的方向性

総合海洋政策本部が中心となり、様々な分野の関係者が相互に連携・協力

- 2 「海洋基本計画（平成25年度～29年度）」 (抜粋) (平成25年4月閣議決定)

総論 海洋立国日本の目指すべき姿

海洋の開発・利用による富と繁栄
・ 海洋資源等、海洋の持つ潜在力を最大限に引き出し、富と繁栄をもたらす。

第1部、第2部 海洋に関する施策についての基本的方針及び具体施策

- ・ 風力発電等の海洋再生可能エネルギーの普及のため実証フィールドの整備など政策支援
- ・ 福島や長崎での実証研究 ・ 海域利用ルール明確化や漁業協調型利用メニューの作成等

本県における海洋再生可能エネルギーのポテンシャル

本県においては、海洋エネの導入にむけたポテンシャルが高いと考えられる

● 都心からのアクセスが容易

● 洋上風力や波力発電に取り組む企業等の集積

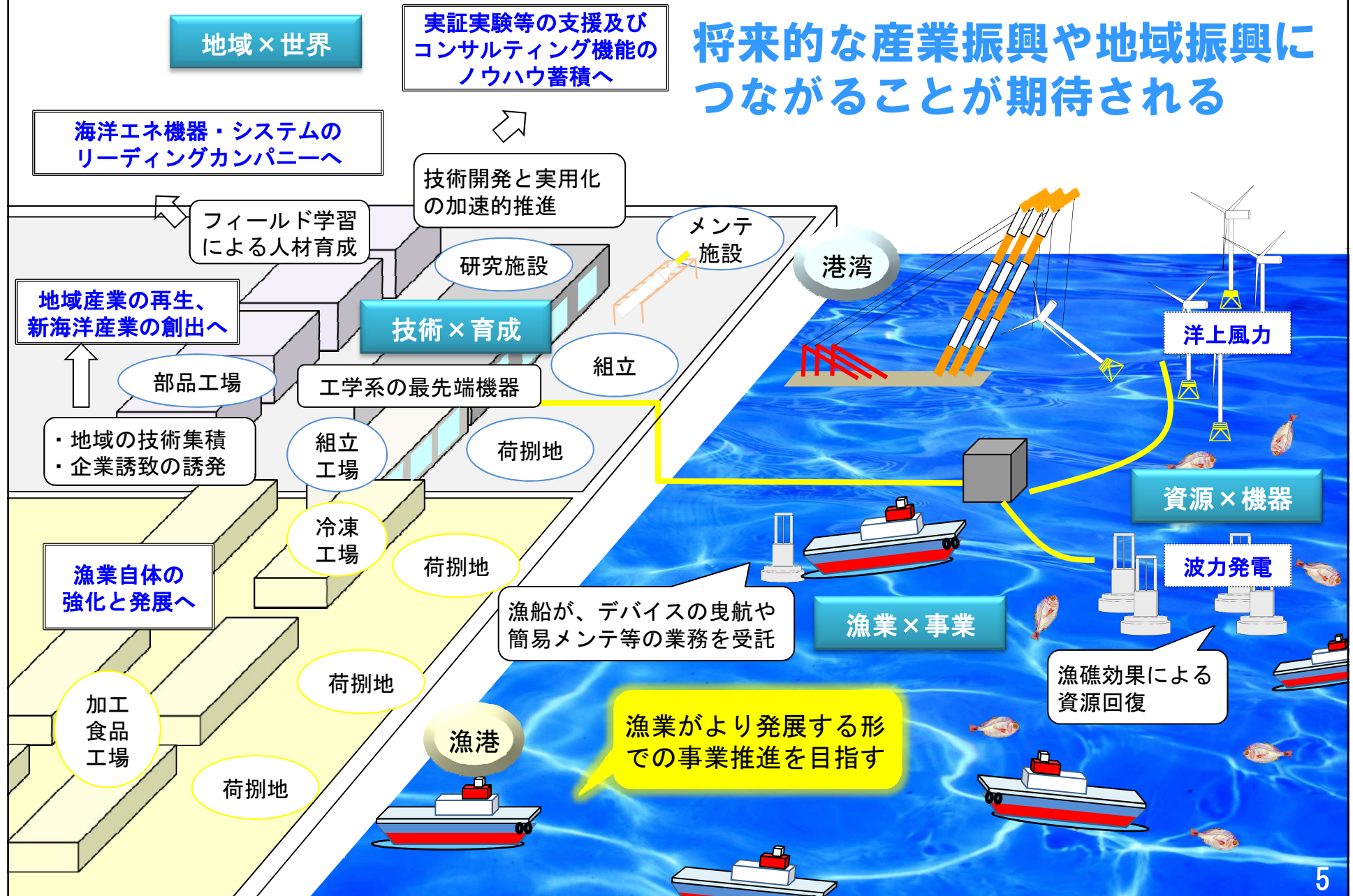
● 銚子沖での洋上風力（着床式）実証試験

● 産業ビジョン等への位置付け

● 三方を海に囲まれ、ポテンシャルが高い

海洋再生可能エネルギーによる産業振興のイメージ

将来的な産業振興や地域振興につながることを期待される



千葉県の海洋再生可能エネルギーの位置付け

海洋エネの推進を通じた産業振興・地域振興を目指す

総合計画 (抄)	<ul style="list-style-type: none">・県・市町村・県民・民間事業者などあらゆる主体が自主的かつ積極的に行う再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの取組を推進します。・地元企業による太陽光発電や風力発電等の導入事業や、地域の創意工夫による主体的な取組など先導的な取組を支援します。
産業振興ビジョン (抄)	本県でポテンシャルのある海洋再生可能エネルギー（洋上風力・波力）の導入を通じた地域経済の活性化

本研究会が目指すところ

県内における海洋エネの可能性や課題を
漁業協調や産業創出等の様々な角度から整理



海洋エネによる産業振興・地域振興
の方向性に関する認識を共有



来年度以降、各関係者の共通理解をベースに、
実測調査等の具体的な調査検討を進めることとしたい